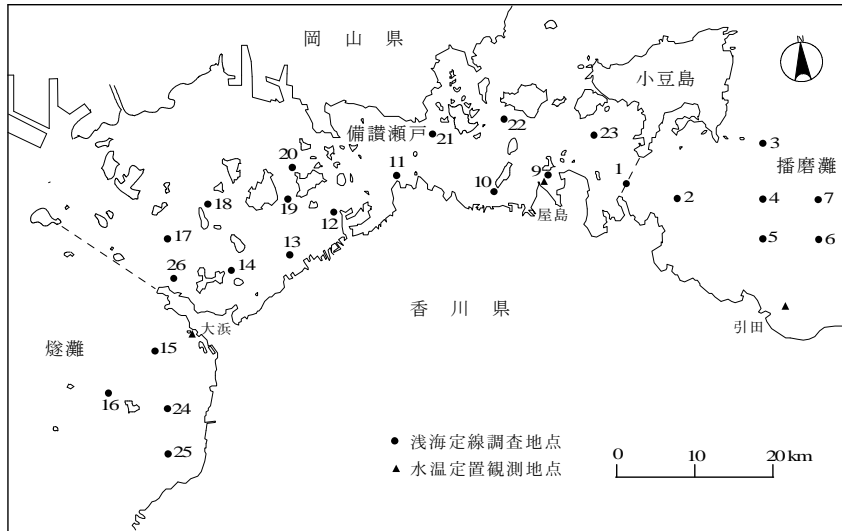


# 香川県漁海況情報 平成 24 年 5 月 (H24-2 号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成 24 年 5 月 1 日 (備讃瀬戸, 燧灘), 2 日 (播磨灘)

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや低めからやや高め」、塩分は「かなり低めから平年並み」、透明度は「平年並みからかなり高め」、溶存酸素は「平年並みからやや高め」であった。

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	14.1	14.2	11.4	31.6	31.7	31.8	9.5	5.98	5.62
	平年値	14.3	13.4	12.2	32.3	32.4	32.5	9.2	5.98	5.44
	平年偏差	-0.2	0.8	-0.8	-0.7	-0.7	-0.7	0.3	0.00	0.18
	標準偏差(σ)	1.1	0.8	1.0	0.5	0.5	0.5	2.9	0.47	0.44
	状 況	平年並み	やや高め	やや低め	かなり低め	かなり低め	かなり低め	平年並み	平年並み	平年並み
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	14.7	14.1	14.5	31.9	32.0	32.0	8.6	5.71	5.61
	平年値	14.5	14.1	14.0	32.6	32.7	32.7	5.7	5.62	5.59
	平年偏差	0.2	0.0	0.5	-0.7	-0.7	-0.6	2.9	0.09	0.02
	標準偏差(σ)	1.1	1.1	1.1	0.6	0.6	0.6	1.8	0.45	0.43
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	やや低め	やや低め	かなり高め	平年並み	平年並み
燧 灘	4地点平均値	15.3	13.9	12.2	32.7	32.8	32.9	12.1	5.72	5.58
	平年値	15.9	14.1	13.3	32.8	33.0	33.2	10.4	5.69	5.19
	平年偏差	-0.6	-0.2	-1.0	-0.2	-0.2	-0.3	1.7	0.03	0.39
	標準偏差(σ)	1.3	1.3	1.5	0.4	0.4	0.4	3.0	0.39	0.49
	状 況	平年並み	平年並み	やや低め	平年並み	平年並み	やや低め	平年並み	平年並み	やや高め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温, 塩分及び透明度: 昭和 56 年 (1981) 1 月 ~ 平成 22 年 (2010) 12 月

溶 存 酸 素: 昭和 56 年 (1981) 2 月 ~ 平成 22 年 (2010) 12 月

水温は, 毎月 1 日の値に補正。

平年並み  $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$  ( $\sigma$ : 標準偏差)

やや高め (やや低め)  $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め)  $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め)  $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

### 3) 定置観測 (水温)

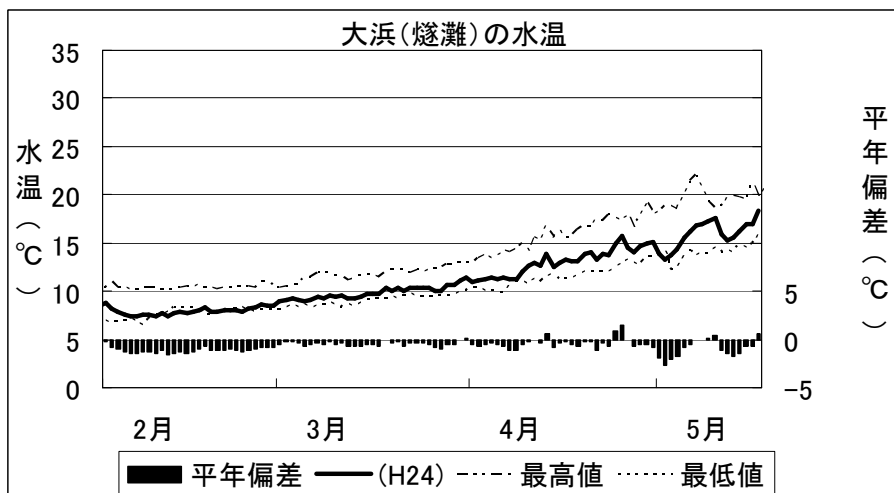
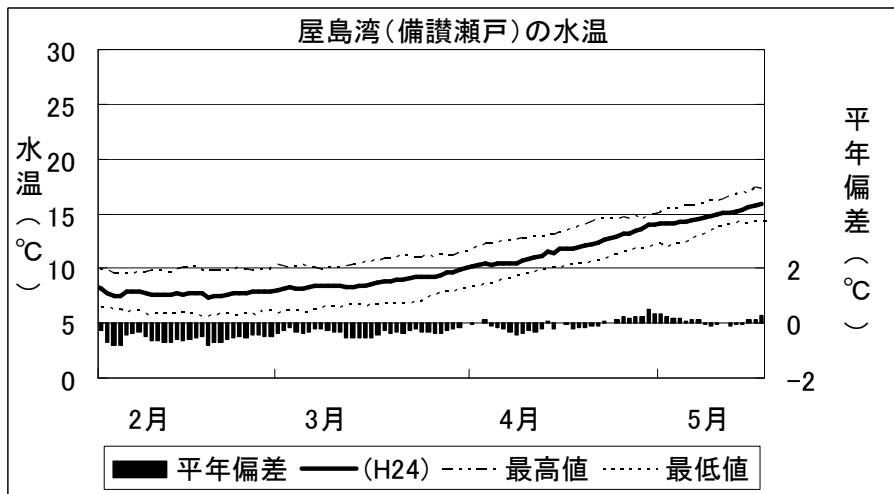
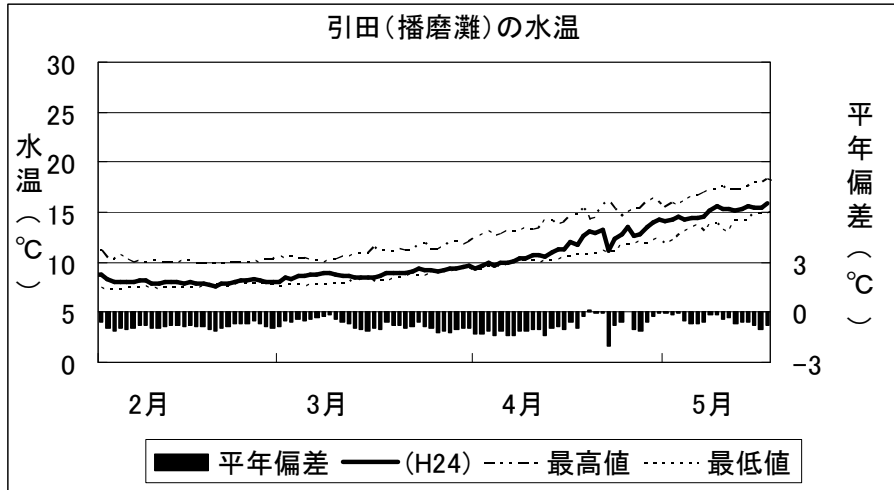
播磨灘 (引田) : 2月はやや低めからかなり低め, 3月は平年並みからかなり低め, 4月はかなり低めから平年並み, 5月は平年並みからやや低めで推移している。(2月下旬に1日, 3月下旬に2日, 過去最低値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島) : 2月から3月はやや低めから平年並み, 4月からは概ね平年並みで推移している。

燧灘 (大浜) : 2月は平年並みから著しく低め, 3月は平年並みからやや低め, 4月はやや低めからやや高め, 5月はかなり低めから平年並みで推移している。(2月上旬に5日, 下旬に6日, 5月上旬に2日, 過去最低値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 23 (2011) 年

屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 23 (2011) 年



#### 4) 赤潮 (4月20日～5月19日)

播磨灘：2月15日に播磨灘南西部で確認された *Noctiluca scintillans* による赤潮は現在も継続中である。

備讃瀬戸：発生無し。

燧灘：発生無し。

#### 5) 卵稚仔

調査日：平成24年5月1日(備讃瀬戸, 燧灘), 2日(播磨灘)

出現量

ー：平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

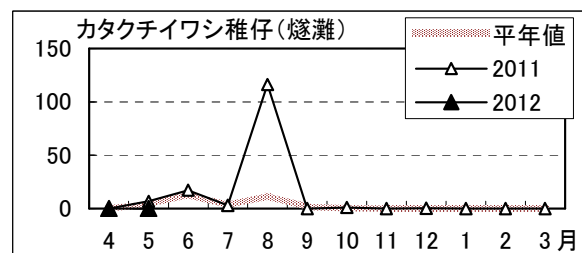
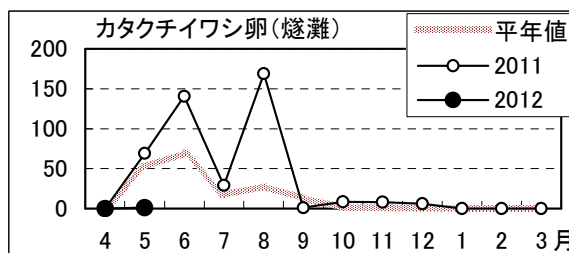
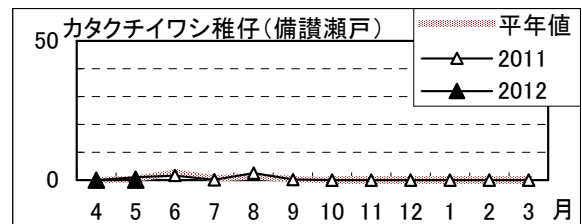
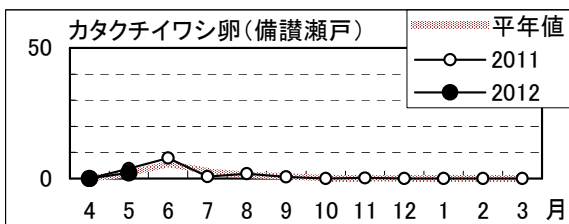
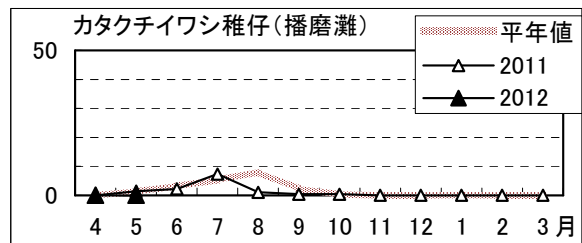
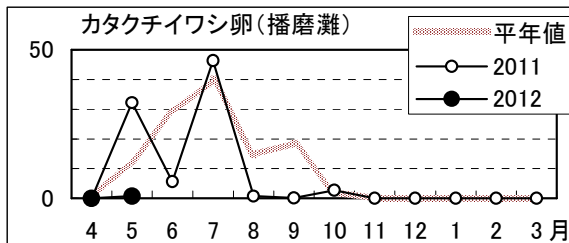
平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55(1980)年度～平成23(2011)年度

マイワシ：平成6(1994)年度～平成23(2011)年度

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	0.75	0.00	0.00	0.00	5.75	1.00
	平年値	12.94	1.27	2.71	0.09		
	対平年(%)	0.06	0.00	0.00	0.00		
備讃瀬戸	平均値	2.20	0.00	0.00	0.00	16.47	0.60
	平年値	1.77	0.38	0.19	0.15		
	対平年(%)	1.24	0.00	0.00	0.00		
燧灘	平均値	0.86	0.00	0.00	0.00	3.43	0.14
	平年値	52.13	3.88	1.05	0.74		
	対平年(%)	0.02	0.00	0.00	0.00		
総平均	平均値	1.50	0.00	0.00	0.00	10.57	0.60
	平年値	30.31	2.55	1.06	0.27		
	対平年(%)	0.05	0.00	0.00	0.00		

\*マイワシの卵・稚仔は、平成14年度以降、確認されていません。



平年値は昭和55年度から平成23年度の平均

## 2. 漁況

### 1) 4月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では主にマダイ、スズキ、マアナゴ、メイタガレイ、ウシノシタ類、コノシロ、オニオコゼ、小エビ類、コウイカ、ベイカ、アカニシなどが漁獲されている。</p> <p>建網では主にマダイ、メバル、カサゴなどが漁獲されている。</p> <p>桁網では主にクロダイ、ボラ、コノシロ、メバル、ウマヅラハギ、コウイカなどが漁獲されている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にマダイ、クロダイ、スズキ、ヒラメ、ウシノシタ類、キュウセン、アカエイ、イカ類、マダコ、オニオコゼ、メイタガレイ、マアナゴ、アカニシ、小エビ類、ウマヅラハギなどが漁獲されている。マアナゴは昨年より増加している。</p> <p>建網では主にウシノシタ類、イカ類、マダイ、クロダイ、メバル、カサゴなどが漁獲されている。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主にクロダイ、ウマヅラハギ、ヒラメ、メイタガレイ、シヤコ、小エビ類、コウイカなどが漁獲されている。</p> <p>建網では主にメバル、コウイカ、ウマヅラハギ、カサゴ、オコゼなどが漁獲されている。</p> <p>桁網ではクロダイ、マダイ、ウマヅラハギ、イカ類などが漁獲されている。ウマヅラハギは例年より低調である。</p> <p>さより機船船びき網は漁期が始まった4月から依然低調である。</p>
香川県全域	<p>さわら流しさし網は4月20日から春漁が始まっており、香川県魚市場(株)における5月16日までの県内産の取扱量は、サワラが約32.6千尾で、昨年の20.9千尾より大幅に増加している。海域別では、播磨灘、備讃瀬戸で昨年より増加しているが、燧灘では減少している。サゴシは1.8千尾で、昨年の2.9千尾より減少している。サイズ別では、2~4キロ(ほぼすべて2歳魚)の尾数の比率が極めて高い。</p>

## 2) 香川県の漁獲情報

### (1) 漁獲管理(TAC)システムデータ

日本周辺の生物資源を適切に管理保存するためのTAC(漁獲可能量)を迅速に把握することを目的とした全国システムで、本県では以下の産地市場に整備されている。

### (2) 高松市中央卸売市場データ

水産物のうち生鮮水産物(香川県全体からの集荷物)について、高松市中央卸売市場のホームページで公開されている情報を水産試験場で集計したものの。

